

令和7年度 部活動地域移行アンケート集計結果（保護者）

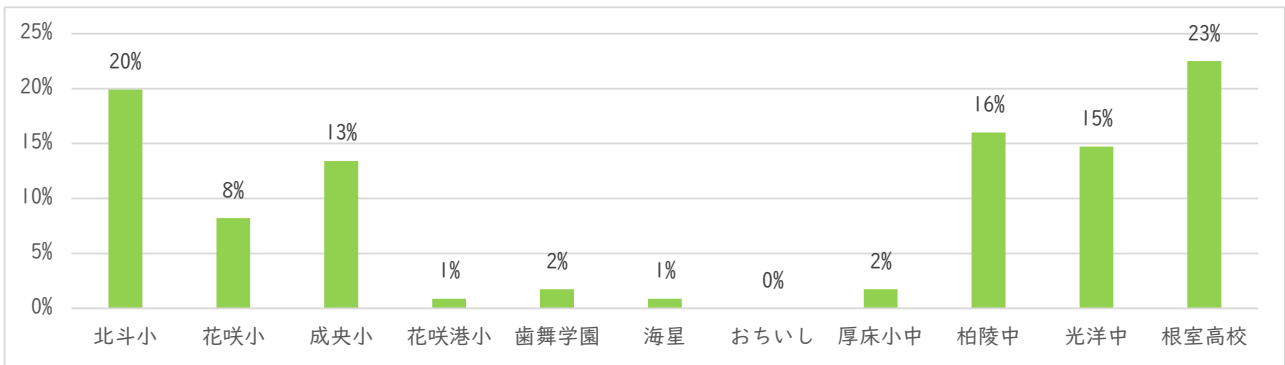
【対象者】 小学1年生～高校3年生までの保護者

【期間】 令和7年8月21日～令和7年9月30日

【回答者】 177人（家庭数1,339人/回収率13%）

質問1. お子様の通っている学校はどちらですか？ご兄弟姉妹も回答して下さい。（複数選択可）

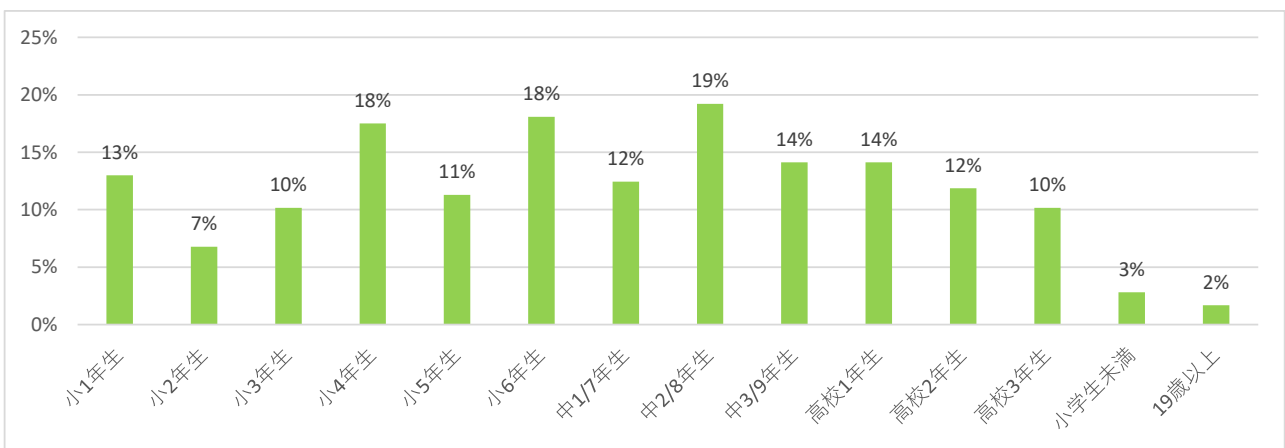
選択肢（回答数）			
北斗小	（46人）	花咲小	（19人）
成央小	（31人）	花咲港小	（2人）
歯舞学園	（4人）	海星	（2人）
おちいし	（0人）	厚床小中	（4人）
柏陵中	（37人）	光洋中	（34人）
根室高校	（52人）		



- ・今回のアンケートの回答者は177人（家庭）、回答率は13%。
- ・子どもが通っている学校で一番多く回答があったのは根室高校23%、次いで、北斗小学校20%。
- ・市街地2中学校合わせて31%。

質問2. お子様は、何年生ですか？ご兄弟姉妹も回答して下さい。（複数選択可）

選択肢（回答数）			
小1/1年生	（23人）	小2/2年生	（12人）
小3/3年生	（18人）	小4/4年生	（31人）
小5/5年生	（20人）	小6/6年生	（32人）
中1/7年生	（22人）	中2/8年生	（34人）
中3/9年生	（25人）	高校1年生	（25人）
高校2年生	（21人）	高校3年生	（18人）
小学生未満	（5人）	19歳以上	（3人）



- ・回答された保護者の子どもが通っている「学年」は、中2/8年生が19%、小学6年生と小学4年生が共に18%。
- ・中学生等は約半数の45%。次いで高校生の36%。

質問3. お子様は、中・高の部活動（スポーツ、文化）または、少年団に入っていますか？

兄弟姉妹がいる場合、それぞれに人数をご記入ください。

選択肢	回答数
入っている	170
入っていない	116

・子どもの部活動に入部状況の間に、「入っている」は170人、59%が入部している。

質問4. 質問3で、「入っていない」と回答された方に伺います。

お子様は、中・高の部活動（スポーツ、文化）または少年団に入部する予定はありますか？

兄弟姉妹がいる場合、それぞれに人数をご記入下さい。

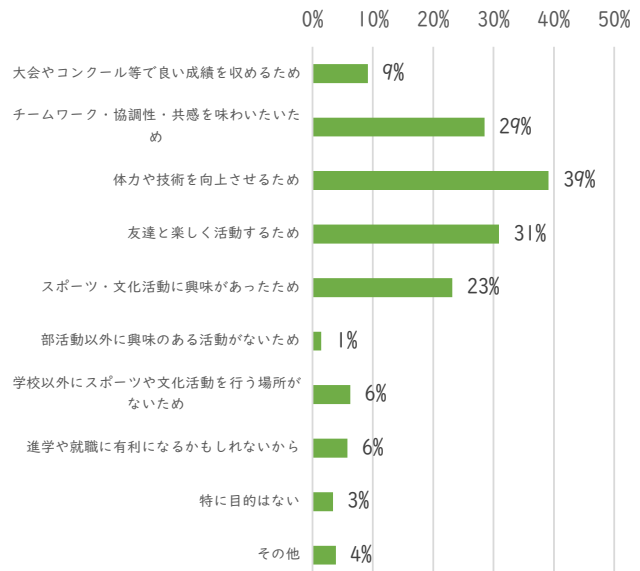
選択肢	回答数
入る予定	37
入る予定はない	79

・現在、子どもが部活動等に未入部で「今後の入部予定」の間に、37人、32%が入部を予定している

質問5. お子様は、中・高の部活動、少年団に入部している（または、入る予定の）目的について、

当てはまると思われるものをすべて選んでください。

選択肢	回答数
大会やコンクール等で良い成績を収めるため	19
チームワーク・協調性・共感を味わいたいため	59
体力や技術を向上させるため	81
友達と楽しく活動するため	64
スポーツ・文化活動に興味があったため	48
部活動以外に興味のある活動がないため	3
学校以外にスポーツや文化活動を行う場所がないため	13
進学や就職に有利になるかもしれないから	12
特に目的はない	7
その他	8

**～その他の回答～**

- ・本人の意思
- ・やりたい部活が小中学校に無く、高校にあったから
- ・好奇心と向上心を学ぶ事が大事だと思っています。少年団であろうと家族との触れ合いであろうとその根源は一緒であると考えます。
- ・好きだから
- ・入る意思がないため
- ・入学時、部活動に必ず入らなければならないと説明があったから
- ・本人の自主性
- ・根室高校の場合ですが、学校から半ば強制的に部活の入部を勧められたため
- ・活動を通して生活にメリハリができるため 等

・子どもの「部活動の目的」についての間に、一番多かったのが「体力や技術の向上させるため」39%。次いで「友達と楽しく活動するため」31%、「チームワーク・協調性・共感を味わいたいため」29%であった。

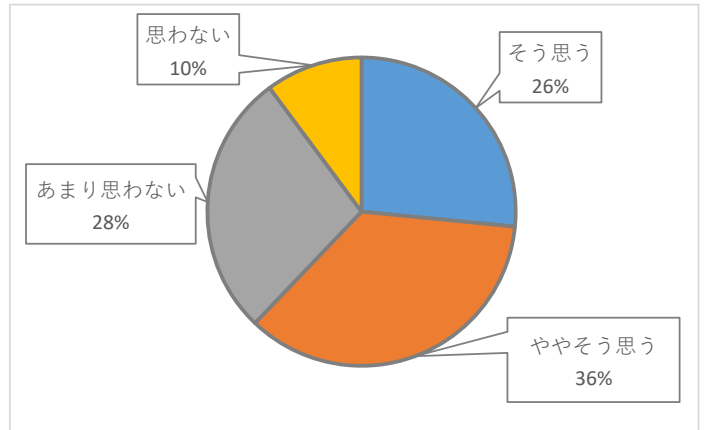
・中高生の回答と概ね同じ傾向となった。

質問6. 現在の部活・少年団活動について次の項目について当てはまるものをそれぞれ選んで下さい。

お子様が中・高の部活動、少年団に入っているか否かに関わらず、回答して下さい。

(1) 充実した活動になっている

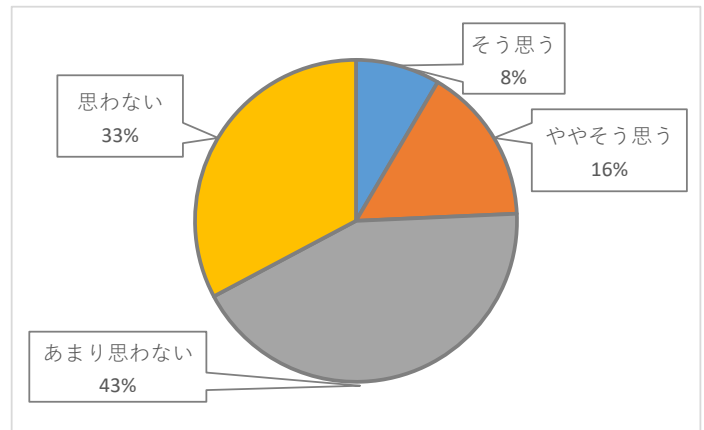
選択肢	回答数
そう思う	47
ややそう思う	63
あまり思わない	49
思わない	18



・子どもの部活動が「充実した活動になっているか」の間に、「そう思う」「ややそう思う」合わせて62%が回答しており、概ね保護者は子どもの活動が充実していると考えている。

(2) 活動の時間や日数が長すぎる

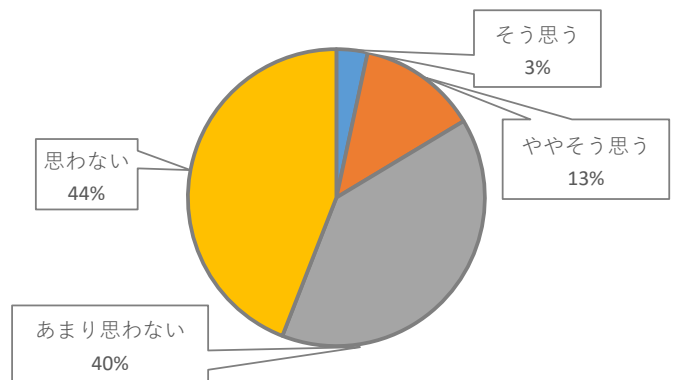
選択肢	回答数
そう思う	15
ややそう思う	28
あまり思わない	76
思わない	58



・子どもの部活動の「活動時間や日数が長すぎるか」の間に、「あまり思わない」「思わない」合わせて76%が回答しており、現状の活動時間・日数でよいと考えているようである。

(3) 活動の指導が厳しい

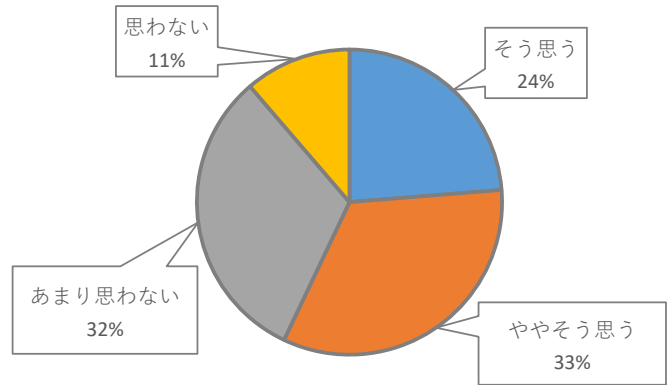
選択肢	回答数
そう思う	6
ややそう思う	23
あまり思わない	70
思わない	78



・部活動の「指導の厳しさ」についての間に、「あまり思わない」「思わない」合わせて84%が回答しており、現状の指導状況でよいと考えているようである。

（４）専門的な指導が受けられない

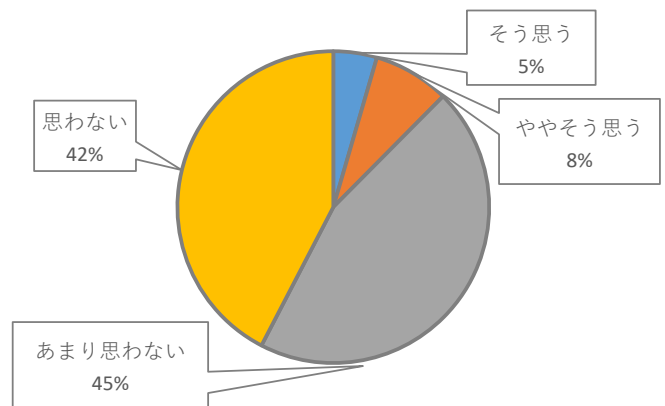
選択肢	回答数
そう思う	42
ややそう思う	59
あまり思わない	56
思わない	20



- ・部活動で「専門的な指導を受けられないと思うか」の問いに、「そう思う」「ややそう思う」合わせて57%が回答しており、概ね専門的な指導を受けられていると考えているようである。
- ・一方、「思わない」「あまり思わない」合わせて43%が回答しており、専門的な指導を受けられていると考えている保護者もいる。

（５）レギュラーになれない

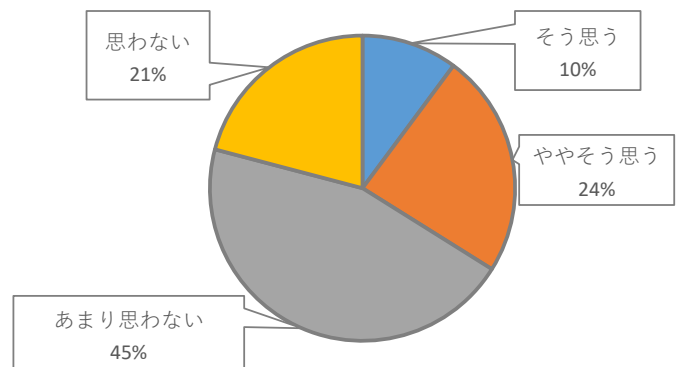
選択肢	回答数
そう思う	8
ややそう思う	14
あまり思わない	80
思わない	75



- ・子どもが「レギュラーになれないと思うか」問に、「あまり思わない」「思わない」合わせて87%が回答しており、概ね保護者はレギュラーを目指して活動できる環境であると考えているようである。

（６）肉体的・精神的に疲労がたまる

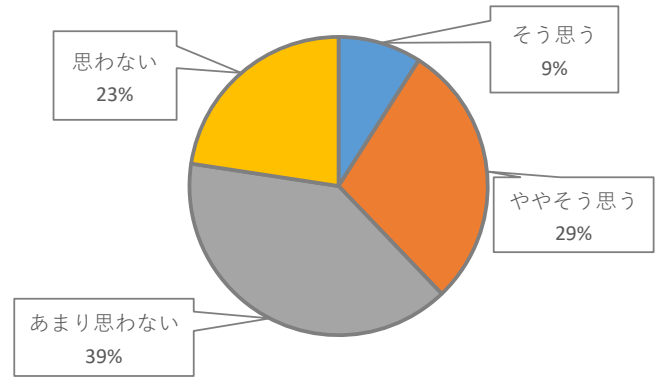
選択肢	回答数
そう思う	18
ややそう思う	42
あまり思わない	80
思わない	37



- ・子どもが「肉体的・精神的に疲労がたまると思うか」の問いに、「あまり思わない」「思わない」合わせて66%が回答しており、約半数が疲労がたまっていないと思っているようである。
- ・一方、「そう思う」「ややそう思う」合わせて34%が、子どもの疲労を感じているようである。

（7）勉強との両立が難しい

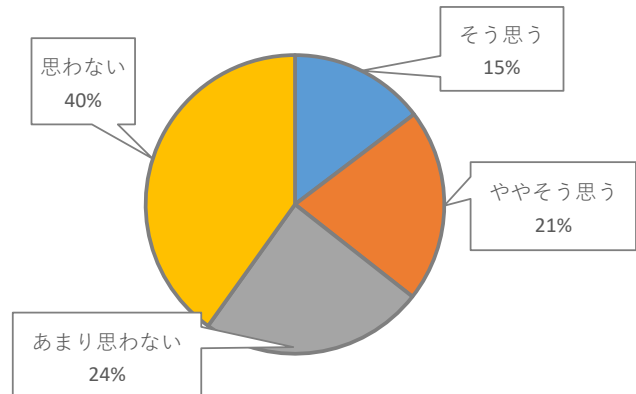
選択肢	回答数
そう思う	16
ややそう思う	51
あまり思わない	70
思わない	40



・部活と「勉強との両立が難しいと思うか」の間に、「思わない」「あまり思わない」合わせて62%が回答しており、約6割の保護者は勉強との両立は難しいと思っていないようである。

（8）入りたかった部活がない

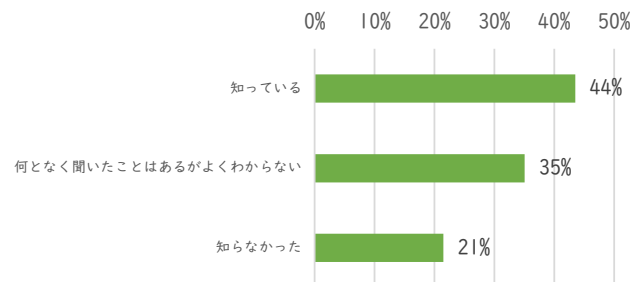
選択肢	回答数
そう思う	26
ややそう思う	37
あまり思わない	43
思わない	71



・子どもが「入りたい部活がないと思う」の間に、「あまり思わない」「思わない」合わせて64%が回答しており、約6割の保護者が子どもは入りたい部活に入っていると考えているようである。
 ・一方、回答者の36%は、子どもが入りたい部活に入っていないと考えているようである。

質問7. 国の方針を受けて学校の部活動を地域へ移行することを進めていますか？

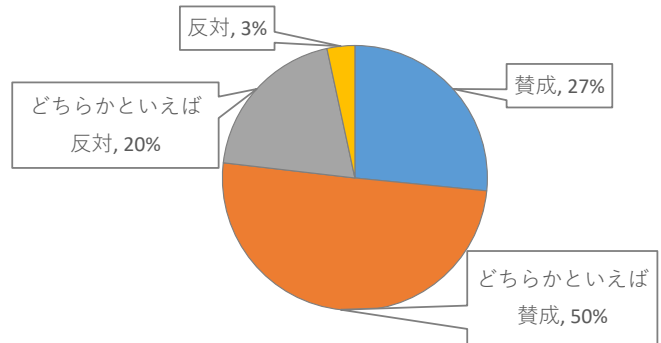
選択肢	回答数
知っている	77
なんとなく聞いたことはあるがよくわからない	62
知らなかった	38



・部活動の地域移行の「認知度」についての間に、「知っている」と44%と約半数の回答があり、「なんとなく聞いたことはあるがよくわからない」「知らなかった」合わせて56%が回答していることから、この数値は、今後の指標と考える。

質問8. 学校の部活動を地域クラブ（地域の指導者や指導を希望する教員など）が担うことについてどう思いますか？

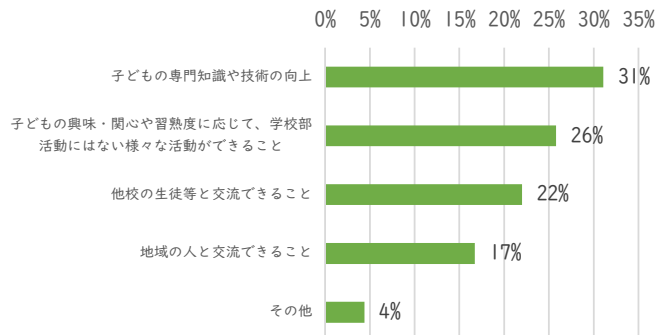
選択肢	回答数
賛成	47
どちらかといえば賛成	89
どちらかといえば反対	35
反対	6



・部活動を「地域クラブが担う」ことへの間に、「賛成」「どちらかといえば賛成」合わせて77%が回答していることから、概ね理解を得ていると考える。

質問9. 部活動の「地域移行」に期待することはありますか？（複数回答可）

選択肢	回答数
子どもの専門知識や技術の向上	106
子どもの興味・関心や習熟度に応じて、学校部活動にはない様々な活動ができること	88
他校の生徒等と交流できること	75
地域の人と交流できること	57
その他	15



～その他回答～

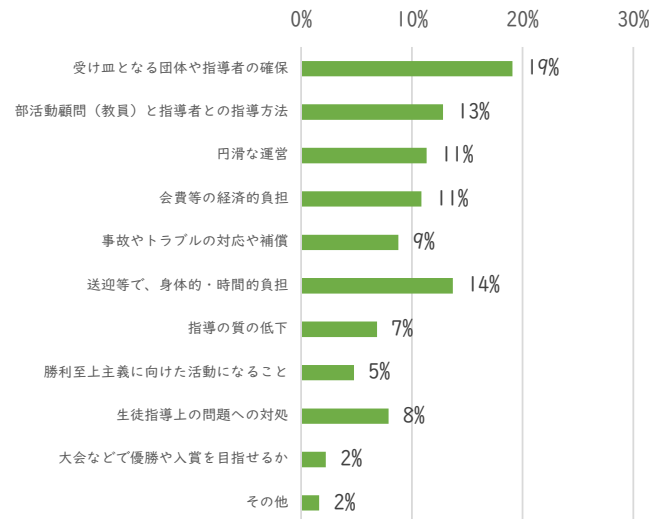
- ・質が落ちることを懸念しています
- ・本格的に部活して欲しいという訳ではなく、楽しみを一番にと考えているのであまり厳しい指導は求めている
- ・教員の負担軽減により、学校生活の充実
- ・教員以外の方が、指導に関わる事は、怖いと思う
- ・保護者の負担が重くなるから反対
- ・上位、入賞を目指す
- ・先生達の負担軽減
- ・特に中学校は先生だけだと活動できる日が少なすぎる。知識の無い先生が顧問になることもあり練習も専門的な練習が出来ていないようなので地域指導者等が指導してくれた方が良いのではと思います。
- ・先生方の負担がなくなることは良いことだと思います。 等

・地域移行に「期待すること」の間に、「子どもの専門知識や技術の向上」の回答が31%と一番多く、次いで「子どもの趣味・関心や習熟度に応じて、学校部活動にはない様々な活動ができること」26%、「他校の生徒等と交流できること」22%となっており、地域移行が期待されていることがうかがえる。

質問10. 中学校の部活動が「地域移行」する場合、不安に感じることは何ですか？

当てはまると思われるものをすべて選んでください。

選択肢	回答数
受け皿となる団体や指導者の確保	128
部活動顧問（教員）と指導者との指導方法	86
円滑な運営	76
会費等の経済的負担	73
事故やトラブルの対応や補償	59
送迎等で、身体的・時間的負担	92
指導の質の低下	46
勝利至上主義に向けた活動になること	32
生徒指導上の問題への対処	53
大会などで優勝や入賞を目指すか	15
その他	11



～その他回答～

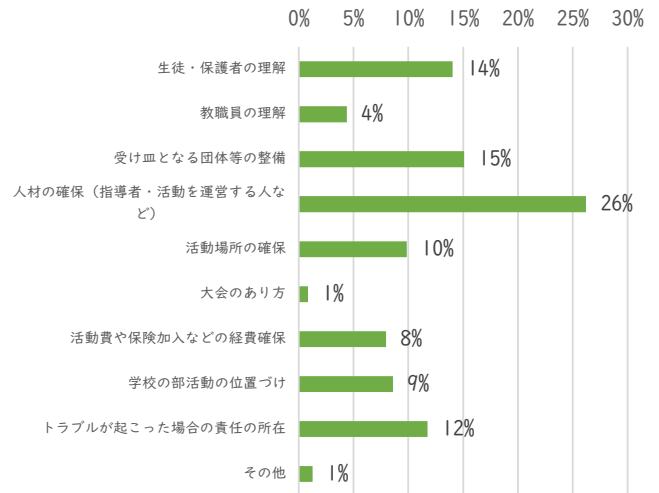
- ・経験者が皆指導者になれる環境になれるのが怖いこと。地域移行で指導者をする者はその協議の指導者ライセンスは絶対必須にするべき。それか、部活動を教えたくて教師になった人も沢山いると思う教師になる人が思う。
- ・ただただ、怖いです
- ・保護者が指導者への関わり方が意外と難しい
- ・平日の指導者が居なく、生徒だけの自主練では、上達できないのでは？学校の顧問担当は、経験者を付けるべきではないでしょうか。
- ・指導者が保護者または保護者と関わりが深い者になった場合、全く公平性は保たれない。
- ・以前兄弟が地域の方が指導するスポーツに入ったことがあるが、勝つこと至上主義で子のメンタルが壊れてしまうことがあった。大好きだったものが、やりたくないという気持ちになりそのスポーツから離れた。
- ・子供との接し方や距離感
- ・学校外の地域の人となると問題がおきた時に情報が入りにくい。女子生徒の場合被害とか気になります。男子生徒の場合、ひいきや体罰などが出ないか心配です。きちんと公平に見える指導者がつくのかどうか。
- ・活動場所が常に運動公園となるのか不明ですが、学校から毎日通うには子供は徒歩のため色々な心配があります。
- ・不安はない。学校がやった方がメリットがあるという理由がない。

・地域移行に「不安を感じる」ことについての問に、「受け皿となる団体や指導者の確保」の回答が19%と一番多く、次いで「送迎等で、身体的・時間的負担」14%、「部活動顧問（教員）と指導者との指導方法」13%となっており、子どもの活動環境と送迎等の身体的・時間的な負担が上位を占めている。

質問11. 中学校の部活動の「地域移行」に向けて、解決すべき最も大きな課題は何だと思いますか？

当てはまるものと思われるものを「3つ」選んでください。

選択肢	回答数
生徒・保護者の理解	67
教職員の理解	21
受け皿となる団体等の整備	72
人材の確保（指導者・活動を運営する人など）	125
活動場所の確保	47
大会のあり方	4
活動費や保険加入などの経費確保	38
学校の部活動の位置づけ	41
トラブルが起こった場合の責任の所在	56
その他	6



～その他回答～

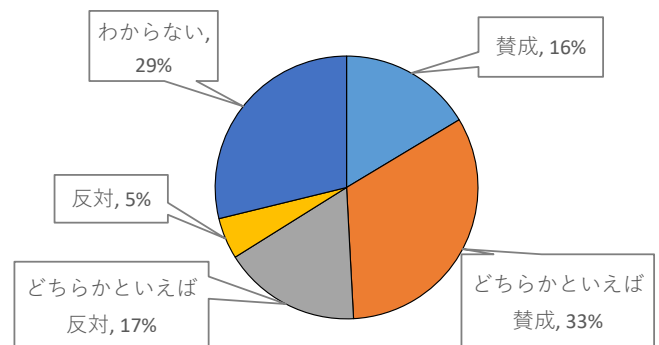
- ・地域の指導者と担当教諭はもう少し連携をとるべきだと思います。
- ・平日部活動時間の指導者の確保
- ・上記の問い全てが課題だと思います。ハラスメントと言うなの付くもの。
- ・送迎の負担
- ・特に課題はない。学校が部活をやるから地域のクラブが設立されない。学校が部活を辞めたら勝手に地域移行する。海外ではそうなっている。学校が辞めたら活動がなくなるというのは傲慢。

・地域移行に向けて「解決すべき最も大きな課題」についての問いに、「人材の確保（指導者・活動を運営する人）」との回答が26%と群を抜いて一番多く、課題と認識されている。次いで「受け皿となる団体等の整備」15%、「生徒・保護者の理解」14%となっている。

質問12. 根室市では試行として可能な中学校の休日の部活動から、段階的に「地域移行」を進めていますが、

どう思いますか？

選択肢	回答数
賛成	29
どちらかといえば賛成	58
どちらかといえば反対	30
反対	9
わからない	51

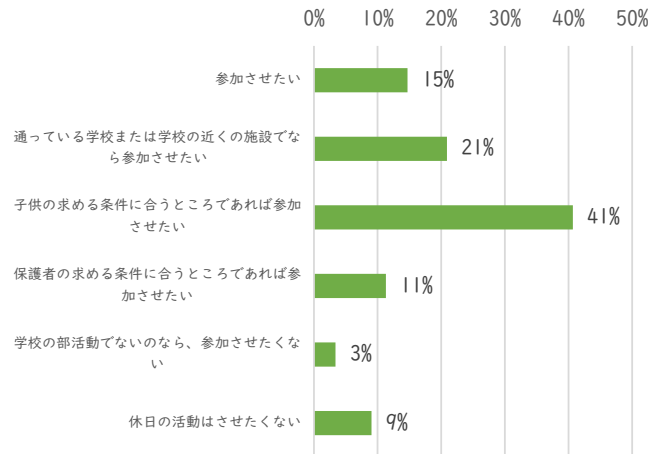


・「試行としての取組」についての問いに、「賛成」「どちらかといえば賛成」を合わせると49%が回答しており概ね理解を得ていると思われる。

質問13. 休日の中学校の部活動が「地域移行」となった場合（以下、「休日の地域活動」といいます）、

あなたのお子様は参加しますか？

選択肢	回答数
参加させたい	26
通っている学校または学校の近くの施設でなら参加させたい	37
子供の求める条件に合うところであれば参加させたい	72
保護者の求める条件に合うところであれば参加させたい	20
学校の部活動でないのなら、参加させたくない	6
休日の活動はさせたくない	16

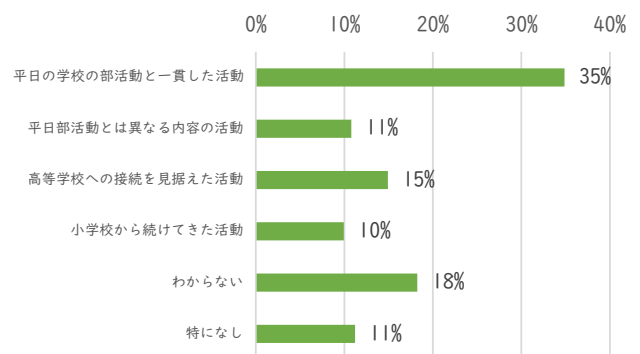


・休日の地域活動への「あなたのお子さんにの参加」についての間に、「子どもの求める条件に合うところであれば賛成」が41%と一番多く、次いで「通っている学校または学校の近くの施設でなら参加させたい」21%、「参加させたい」15%となっている。

質問14. お子様を「休日の地域活動」に参加させるとしたら、どのような活動をさせたいですか？

当てはまると思われるものを「2つ」選んでください。

選択肢	回答数
平日の学校の部活動と一貫した活動	84
平日部活動とは異なる内容の活動	26
高等学校への接続を見据えた活動	36
小学校から続けてきた活動	24
わからない	44
特になし	27

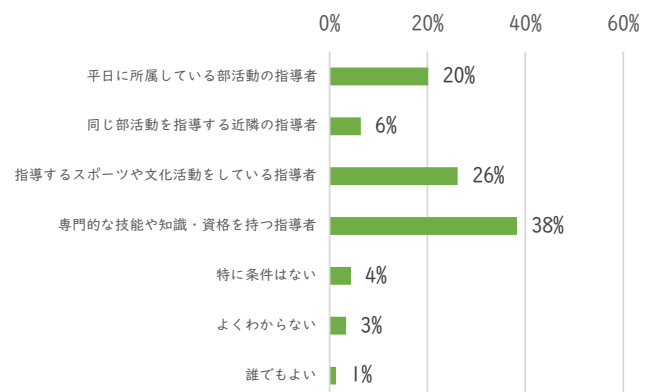


・休日の地域活動にあなたのお子さんにの参加させるとしたら、「どんな指導者が良いですか」の間に、「平日の学校の部活動と一貫した活動」が35%と一番多く、次いで「わからない」18%、「高等学校への接続を見据えた活動」15%となっている。

質問15. お子様を「休日の地域活動」に参加させるとしたら、どのような指導者が良いですか？

当てはまると思われるものを「2つ」選んでください。

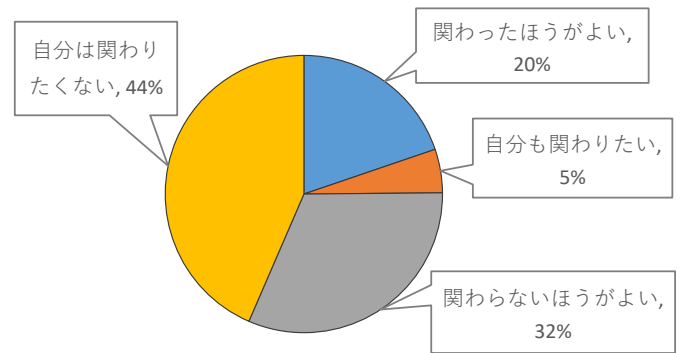
選択肢	回答数
平日に所属している部活動の指導者	60
同じ部活動を指導する近隣の指導者	19
指導するスポーツや文化活動をしている指導者	78
専門的な技能や知識・資格を持つ指導者	114
特に条件はない	13
よくわからない	10
誰でもよい	4



・休日の地域活動にあなたのお子さんにの参加させるとしたら、「どんな指導者がよいですか」の間に、「専門的な技能や知識・資格を持つ指導者」が38%と一番多く、次いで「指導するスポーツや文化活動をしている指導者」26%、「平日に所属している部活動の指導者」20%となっている。

質問16. あなたは、「休日の地域活動」に保護者が指導者として関わることに、どのように思いますか？

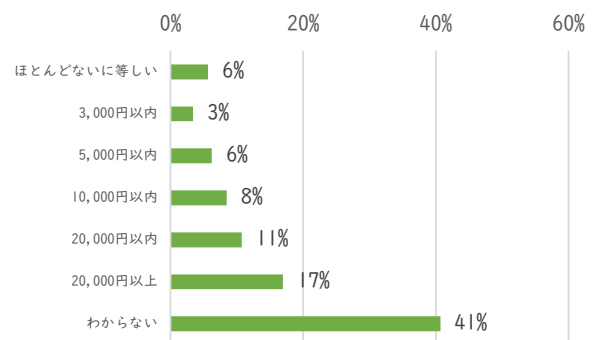
選択肢	回答数
関わったほうがよい	35
自分も関わりたい	9
関わらないほうがよい	56
自分は関わりたくない	77



・休日の地域活動に「保護者が指導者として関わることに」の間に、「自分は関わりたくない」が44%と一番多く、次いで「関わらないほうがよい」32%、一方、「関わったほうがよい」「自分も関わりたい」を合わせて25%となっている。

質問17. お子様が中学校の部活動に参加している方にお聞きします。1年間で負担している部費や遠征費はいくらくらいですか？

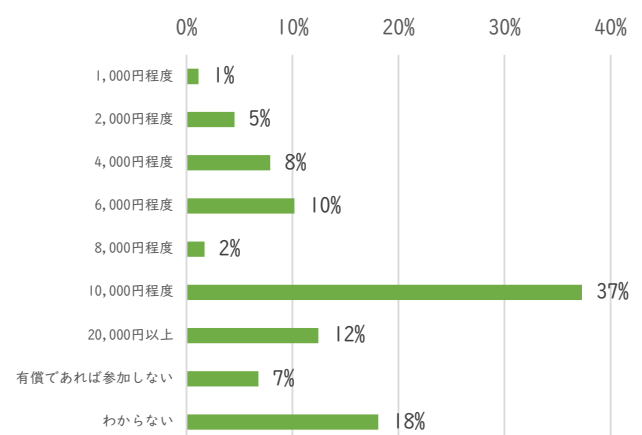
選択肢	回答数
ほとんどないに等しい	10
3,000円以内	6
5,000円以内	11
10,000円以内	15
20,000円以内	19
20,000円以上	30
わからない	72



・子どもの部活動で「1年間で負担している金額」の間に、「わからない」が41%と一番多く、次いで「20,000円以上」17%、「20,000円以内」11%となっている。

質問18. あなたは、お子様が地域クラブ活動に参加し、活動費用が受益者負担となる場合、年額いくら程度なら負担しても良いと思いますか？（備品、遠征費などは除く）

選択肢	回答数
1,000円程度	2
2,000円程度	8
4,000円程度	14
6,000円程度	18
8,000円程度	3
10,000円程度	66
20,000円程度	22
有償であれば参加しない	12
わからない	32



・子どもの地域クラブ活動費に「年額どの程度なら良いか」の間に、「10,000円程度」が37%と一番多く、次いで「わからない」18%、「20,000円以上」12%となっている。

質問19. 部活動の地域移行について、ご意見等がありましたらお書き下さい。

- ・私は、市内の柔道少年団において指導を行っており、自分の子も所属させている親ですが、柔道は随分昔から地域的な実績で移行がされており、中学校においては一時的に柔道の経験を持った指導者がいた時期もありますが、過去数十年以上前から少年団指導者がボランティアとして小学生・中学生を指導しているのが現状であります。2年前より中体連大会にも少年団単位として団体戦に参加することが可能となりましたが、管内中学校体育連盟選手等遠征費の助成基準の中に団体の参加費用等について基準がないことから少年団が立て替えており、ギリギリの運営費で行っている少年団としてはかなりの負担となっているのが事実です。また個人戦についても各家庭負担となっておりますが、本来中体連の冠での大会となれば中学校の負担ででるべきではないのかと思っています。また、PTA会費・文化体育振興費（部活動育成費）も、学校の部活動への部費だけではなく、少年団として中体連等へ所属している活動へ分配しないのはなぜなのかわかりません。様々なスポーツにおいて少子化等の影響から参加者が少なくなっている現状の中で、親の費用負担等々を考えると踏み込みやすい（触れやすい）環境を作らないとスポーツを行うことができなくなると思います。また、様々な問題（ADHD等）を抱えている子供も増えていることから指導者も週3回の練習で3から4名は常に必要ですが、ボランティアでの関わりが普通になっている現状を踏まえると、後進の育成も難しい状況にあり、有償としてかかわるなど課題を解決していく必要があると考えております。
- ・一番の問題は指導者と思う。ライセンス等を、持ってる人が指導するように整備してほしいと思います。1人くらいは子供達をちゃんとまとめる教師もいる方が良いと思う。根室の少年団で保護者指導者が出来ない子供をバカにしたりしているようなことを聞いたことがあります。指導者は慎重に選ぶのが大事だと思います。
- ・まず資格保持者が少ない。資格を取るにも、地方へ数日行かないと取れない。そのために、自分の仕事を休むのは難しい。近隣地区で行ってくれたら取得しやすい。また、仕事をしていると、練習や大会（土曜日開催が多い）に参加するのは難しい。地域活動に移行するなら、指導者の勤め先にも理解が必要だと思います。
- ・国の方針は都会なら通用するんですよ。本市のような過疎の街ではそのロジックは成り立ちません。国の役人は机上でものを考えるのでこういうことはよくあるんですが、地域として声を上げなければ改善されませんよ。石垣市長、是非地域の声を国の役人は届けてください、応援しています。部活動の指導を教員の手から話すなんて、昔じゃ、考えられませんね。これも人口減少の影響なんでしょうか。だとしたら、国は人口減少に対する解決を急ぐべきです。
- ・学校での部活動なら参加させたいが、習い事の様になるのなら時間場所などによるが参加のしようがない。今もサッカーやるやらないの話があったが、送り迎えの問題でやらせてあげれない。先生の負担ならない様、外部の指導者を入れる等して、部活動の様な形が好ましいと思っています。お金の問題もあるでしょうが…この問題について深く理解していない状態で、好き勝手書かせていただきましたので、変な事言っただとしても気にしないでください。頑張れ根室！
- ・保護者の送迎が一番の負担です。大会は土日で、平日しかない休みない仕事をしている保護者には勤め先の理解も求めなくてはいけないところが一番の苦痛です。
- ・「団体を運営する」というのは一般市民が仕事を両立しながらは難しいのが現状だと思います。地域移行は現実的とは思えません。それを成すには移行するすべての部活動にきちんとした指導者を市が用意し、運営する団体を確率しなければ子供達がかわいそうです。一般市民の知識で一般市民の生活環境でどれだけのことを子供達にしてあげれるか。せっかくの伸びしろのある子供達を迎える先に不安しかありません。現在は学校の先生たちには負担をしている状況だと思います。部活動担当していただけてる先生たちにはそれ相応の対価も必要だと思います。
- ・根室は特に大人のスポーツ人口が少ないように感じます。スポーツしてるだけで、「エライね」やら「頑張りがだね」等と言われる始末です。活動的な大人達が少ないので、やはり子供の部活動や少年団に協力的な人が少ない印象があります。中標津町と根室市で何故こんなにも変わるのか。僕は、子供の頃のスポーツの関わり方が大事だと思います。スポーツは楽しい。走りたい。頑張る。そんな大人たちを見ていたら子供だって動きたくなるもんです。大人も子供もみんなでスポーツを楽しむ機会があるともう少しだけ盛り上がるのかな、民間企業の手を離しては無理だろうか。なんて思ってしまう。ぜひ生涯スポーツ活動、生涯勉強活動の糧となるような活動内容となることを切に願います。

- ・地域移行はよいが、指導者が保護者になると、極端に自分の子供に厳しかったり、逆に甘かったりすることがある。そのようなことがない保護者でも、何かと言われやすいため、人選も難しく保護者でないことが望ましい。中学の部活は活動時間が短く、やりがいに乏しい。少しでも上を目指すために指導者が見つからなければ保護者でも仕方ないとも思う。地域移行の1番の問題は運営で、金銭的問題、学校・指導者・保護者の立ち位置だと思う。小学のように学校が関わらないのは無責任に感じる。働き方改革はよいが、指導したいという教員もいるならば、もっと積極的に関わってほしい。指導者として1番ふさわしいのは私は教員だと思っている。それは成長発達をよく理解し、教えることに関してのプロであり、学校での子供のこともよく知っているからである。
- ・知り合いの子だからとかの差別が出そうで心配です。以前スケート少年団に加入していましたが、やはり差別や鼻屑がありました。仲良くしている子だけにジュースを買ってあげたりご飯に連れて行ったりまた名前呼びやあだ名呼びで仲が良いと周りでも分かっけてしまいます。それがあると子供の世界でも上下関係が出来てしまいます。教師のように平等に接することが出来ればいいんですが。
- ・地域密着型になる事はいい事だけど、部活動なのか自主的に練習なのか全然わからず、気づけば毎日練習してるのかと思うことがある。
- ・指導者が不足している中でありがたいことです。
- ・地域のクラブに移行していくならそのクラブの中のシステム、コンセプトをしっかりと決めてみんなが同じ方向を向ける活動にしていかなければと思う。地域移行する先の運営への指導やアドバイスは必要だと感じる。
- ・教員の働き方改革、地域の専門的、または経済者による指導に関してはメリットがあると思います。ただ、地域移行後スポーツを通じての子供の精神状況や課題が学校教育と共有していけるよう、指導者と学校、保護者がしっかりと繋がるシステムと教育の方向性を確認しておきたい。
- ・そのスポーツの経験者と保護者が指導者という少年団に属したことがあるが、そこそ仲が良い関係者だけが得をする状態。子供達を教育したり年齢に合わせた対応を学んでいない者が指導者となると、単なる大人の好き勝手。純粋に楽しみたい子は置いてけぼり。指導者が偉いといった態度にも驚いた。指導者として資格があるなら良いが、そうでないならやらせたくない。普通に有料のスポーツクラブを増やしてほしい。保護者が指導者になるのは、一番なし。指導者側からしても、無償で好き勝手言われたくないと思う。
- ・保護者の自分勝手な意見のせいで子供達がのびのび活動できなくなる。ルール作りが重要。
- ・部活をやると根室は遠征するだけで金銭の負担がとて多い。それでもそれが本当に子のやりたいことで楽しみながらも真剣に活動できることであれば親も同じ方向を見れると思うが中には勝つこと至上主義でその子それぞれの性質を考ることなく勝てない＝ダメ。とメンタルを削ってしまう指導者もいる。地域移行したときに怖いと思うのは、そういうことが増えるんじゃないかということ。
- ・現在小学生、中学生、高校生の子がおり、3人ともサッカーをしています小学生、高校生の活動は指導者の方のおかげもあり充実してはいますが、中学校があまりにも活動がありません。練習も少なく指導者の先生もあまりやる気があるように思えません。
- ・休日の地域活動について指導者にも仕事があり休日も必要でそもそも指導者がいる部活がどのくらいあるのかわからない。保護者に知識も経験もなければ保護者に指導は正直負担でしかないし付添いはできるが指導はできない。ただ、子供がやりたいと言えば部活としてあるのならやらせてあげるしかない。教えられる保護者がいなければただ活動しているだけで成長できないのも黙って見てるしかない。

- ・部活動の地域移行については特にありませんが、このアンケートは該当しないのにはほぼ必須で答えにくかったです。
- ・普通に働いている人が平日17時30分前に指導にあたるのは不可能に近いので、放課後から地域の指導者到着するまでの間、市職員が勤務時間内の範囲で監督（指導というより安全管理目的）するなど、少し本気で汗をかいてほしい。室内スポーツであれば青少年センターなら実施可能では？やらない意味がわかりません。
- ・学校での部活動は顧問の指導能力で差が出る。それを地域移行で解決出来るのであれば納得するが、そもそも変わらないのであれば学校での部活動で十分だ。先生方の負担がと聞くが、なら部活動は廃止にすればいい。全て地域移行で活動すべきである。子供の人数が足りず存続出来ない部活や、入りたいのにない部活など子供にとっての選択肢も与えられないのは可哀想である。
- ・部活動は、何校かの合同となっており、日によって親の送迎が必要なもので、やりたくてもやらせられません。また、学校の先生が関係していないところでは、何かの時の安全が保てるのかが心配です。中学で何かやらせたいとは思いますが、まだ考え中です。
- ・指導者の確保が難しいのは分かるが、誰にでも指導者に入れるのは不安がある。採用基準や条件はどこにあるのでしょうか。指導の質の低下や、教育に携わってない一般人が子供と部活動で密に接するのは心配な思いもある。
- ・現在、隣の別海町の野球少年団に所属しています。厚床からだ根室市より別海町の方が広いのと、友達がいるからです。このまま野球を続けさせたいと考えていますが、厚床には野球部がないので、野球を続けるために野球部がある学校に転校をしなければいけないのか考えています。市町村の枠をこえて部活動ができたらいと思います。
- ・部活動は今まで通りに学校主体で活動して欲しいです。学校の部活動を通じて指導の先生から得るものはとても重要だと思います。
- ・今は週末も練習があります。運営する活動がどんな趣旨でやるかにもよりますよね。やるのであればしっかりと指導して頂き、子供たちの成長の力になってもらえたら良いと思います。
- ・小学校サッカー少年団は充実しているが、その後の中学校の体制が不安定でしっかり活動してできていない。早急に対応をまとめます。
- ・他市町村で実施しているような、市町村で指導者を雇用し、各学校へ放課後指導者として派遣する形が、教員の負担も減り良いのではないかと？特性ある子の参加が出来るような受け皿や指導者の確保は市でフォローして貰えると子供達の参加したい希望も叶うのではないかと？と思う。
- ・指導内容は一貫してほしいので、長く教えていただける方が良いと思います。
- ・保護者が指導を行う場合もある程度の経験と知識、人間性を求める。
- ・学校外の地域の人となると問題がおきた時に情報が入りにくい。女子生徒の場合性被害とか気になります。男子生徒の場合、ひいきや体罰などが出来ないか心配です。きちんと公平者がつくのかどうか。学校と連携がちゃんとできているかが気になる所です。
- ・あるものを無くすという事に対し、抵抗を示すのは当たり前のこと。そんな事を気にせず無くしてしまえば案外、勝手にシステムが構築されると思う。海外では地域で活動している。日本人は何でも学校や行政に任せ、責任転嫁しているだけ。気にせず地域移行したら良い。

- ・小学校の子供がサッカーのクラブ活動に参加しておりますが、とにかく親の送迎の負担が重たいです。専業主婦の方であればうまく日常に組み込めると思いますが両親が共働きの場合、仕事を抜けなくてはいけなかったり、祖父母にお願いしたりとなかなか難しい状況です。子供に意欲はあっても送迎の難しさから諦めているご家庭も沢山あると思います。私達が学生の頃は自分の通っている学校内での部活動があったので、帰りのお迎えのみで済んでおりました。お迎え時間も5時半など、仕事が終わっているご家庭も多いのでそれほど難しいことではなかったと思います。どんな家庭の状況でも意欲のある子供には、その子が望む競技をやらせてあげられるようにしてほしいなと思います。やらせてあげられるようにしてほしいなと思います。何か子供のクラブ活動の送迎の委託できる事業などがあってほしいなと望んでおります。
- ・地域の専門知識がある方にご指導をして頂けるのはありがたいのですが、その為に活動費用が別でかかるのは理由が明確であれば先に知りたいです。場世の確保の件でも学校ではなく運動公園や青少年センターに毎日通うようになるのであれば子どもが毎日徒歩で向かうには心配があります。天候、熊、変質者など、いずれも活動場所へ向かう最中に何かあった場合、危なかったねでは済まないのです。学校でそのまま活動できるのであれば心配は減ります。
- ・平日も地域移行にして、教職員の勤務外指導をやめさせて欲しい。教職員の働き方改革をお願いします。
- ・現在、教員が指導する部活動に所属していますが、やはり指導者が学校の先生という事で、安心して参加させてます。学校の先生が指導者の場合、そのスポーツの個人の技術面だけではなく、普段の学校生活態度や子どもの性格、頑張りなど、多方面の見方を含めて指導してもらえますが、指導者が地域のそのスポーツの専門の方だとしたら、技術面だけではない、他の部分が把握できないままの指導なら部活動では無くなり、そのスポーツの向上だけになってしまいそうで心配です。
- ・子ども2人いますが、2人とも根室高校美術部に所属しています。美術科の先生がいない学校なので専門的に指導を受けています。おかげさまで、入賞するレベルにまで技術向上しています。通っていた中学校が美術部がなく、文化部の選択肢が吹奏楽部しかなかったのが（顧問の先生の配置が厳しいという現状も教えていただきました、）外部の方が入った指導は賛成です。子どもたちの技術向上のためにぜひお願いします。
- ・部活動の地域移行には断固として反対いたします。確かに、この施策が進められる背景には「教員の負担軽減」という大義名分が掲げられています。しかし、少子化の進展に伴い生徒数が減少している現状を踏まえれば、そもそも部活動の種類や規模は縮小傾向にあり、部活動が教員の負担を過度に増大させているとは言難い状況にあります。むしろ地域移行を進めれば、教員は部活動への責任を放棄し、指導者任せの無責任な体制へと陥る危険性すら否めません。既にその兆候が現れつつあります。さらに重大な問題は「指導者の選定基準」にあります。部活動は本来、学校教育の一環として位置付けられるべきものであり指導者には生徒の成長を支える教育的資質と責任感が不可欠です。しかし現状では、単に競技経験がある、あるいは協会に属しているといった表層的な理由で人選されているようにしか見受けられません。教育委員会として、どのような資質や能力を基準に指導者を認定しているのか、そのプロセスは全く不透明であり、結果として強い不信感を抱かざるを得ません。加えて、今後も不明瞭です。すべての部活動を地域移行の対象とするのでしょうか。それとも、移行可能な部とそうでない部との峻別するのでしょうか。その基準は何か、説明責任を果たすべきです。そして、仮に教員の業務負担が軽減されるとして、その余剰リソースは一体どこへ振り向けられるのでしょうか。停滞したままの地域の学力向上施策に注がれるのであれば、まだ理解できますが、その展望すら示されていません。計画も理念も不十分なまま場当たりに進めれば、教育の質を損ない、ひいきは子どもたちの成長機会を奪うことになりかねません。教育委員会が本当に取り組むべきは、地域移行の推進といった目先の制度変更ではなく、学校教育の本質的な課題解決であるはずで、人材不足の克服、学力向上への具体策、そして教師が教育の原点に集中できる環境づくりこそが、最優先で果たすべき責務ではないでしょうか。